

IV その他について

- * カメラ用の電池はリチウムの **2CR5**、データバック用にはリチウムのコイン型電池 **CR2025** を使用します。
- * 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。電池の＋を間違えないようご注意ください。
- * 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。治療方法についてのお問い合わせ先。
筑波中毒110番：0298[52]9999 24時間体制
大阪中毒110番：06[451]9999 24時間体制
- * 電池をショートさせたり、分解や充電をしたり、火の中に入れると破裂・発火の恐れがありますので絶対にしないでください。

- * 海外旅行や寒冷地での撮影や写真をたくさん撮る予定のあるときなどは、予備電池を用意しておくで安心です。
- * 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量[能力]不足になることがあります。常温に戻れば使用できます。
- * カメラバックなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。電源スイッチを切っておくと安全です。
- * 内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用の電池が多少温くなる場合がありますが、これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

一般撮影	約100本
ストロボ撮影[使用率50%]	約25本
ストロボ撮影[使用率100%]	約15本
バルブ露出時間	約12時間

新品のリチウム電池 **2CR5** で、当社試験条件による。
[24枚撮りフィルム、常温]

2) 取り扱い上の注意

- カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。
- * 落としたり、固いものにぶつけないようにしてください。もしも強いショックや圧力を与えた場合は点検を受けてください。
- * レンズやファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- * 高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することは避けてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。
- * カメラの使用温度範囲は50℃～-10℃です。
- * 寒い外から急に暖かい部屋へ持ち込むと[または逆の場合も]、カメラの内外に水滴を生じます。このような環境では、カメラをバッグやビニール袋に入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。
- * カメラは、防虫剤入りのタンスや薬品を扱う実験室を避けてください。また、カビ防止のためケースから出して風通しの良い所に保管してください。
- * 汚れ落しに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- * ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

- * シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。
- * カメラ内部には、高電圧部があります。危険ですから決して分解しないでください。
- * 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に手油などの汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。
- * サービスサイズのカラープリントでは画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を取っておくと安心です。
- * 水没品は修理不可能のケースが多くなります。当社のサービス窓口にご相談ください。
- * 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検をお勧めします。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には、点検や試し撮りをされるようにしてください。
- * マクロレンズや望遠レンズを使用したときは、ファインダーの上部がミラー切れによって暗くなる場合がありますが、撮影した写真には影響ありません。

LCD[液晶]用バックアップ回路について
撮影途中のフィルムがカメラに入っているとき、電池交換のために電池を抜いても、撮影枚数とフィルム感度はカメラに記憶されています。

LCD[液晶]表示について

- * 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- * 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

97

3) こんなときは？

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

症 状	原 因	処 置	参照ページ
シャッターが切れない	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	14ページ
	バッテリー警告  が出ている。	電池を交換してください。	10ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	10ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	62ページ
	ペンタックスファクションの設定モードになっている。	ペンタックスファクションの設定モードを終了してください。	78ページ
	内蔵ストロボが充電中である。	充電されるまで待ってください。	73ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	14ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	10ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	10ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	10ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい物(被写体)にAFフレーム  が合っていない。	被写体をAFフレーム  に入れて撮影してください。	28ページ
	被写体に近すぎすぎている。	被写体から離れてください。	28ページ
	フォーカスモードレバーが MF になっている。	フォーカスモードレバーを AF にしてください。	28ページ
	オートフォーカスの苦手な被写体。	フォーカスロックを使うか、マッド部分でのピント合わせをしてください。	30ページ 45ページ
	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な被写体などのためピント合わせができない。	フォーカスロックを使うか、マッド部分でのピント合わせをご利用ください。	30ページ 45ページ
ファインダー内の  が点滅する。	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な被写体などのためピント合わせができない。	フォーカスロックを使うか、マッド部分でのピント合わせをご利用ください。	30ページ 45ページ
内蔵ストロボが充電しない。	電池が消耗している。	電池を交換してください。	10ページ

症 状	原 因	処 置	参照ページ
露出補正がセットできない。	露出モードがグリーンモードになっている。	露出モードをグリーンモード以外にしてください。	22ページ
	露出モードがマニュアル露出になっている。	露出モードをマニュアル露出以外にしてください。	55ページ
ズームクリップモードにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して POWER ZOOM にする。	64ページ
	レンズのオートズームスイッチが P になっている。	レンズのオートズームスイッチを A にする。	64ページ
イメージサイズ指定モードにセットできない	カメラ側のフォーカスモードレバーが MF になっている。	カメラ側のフォーカスモードレバーを AF にする。	67ページ
	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して POWER ZOOM にする。	64ページ
	レンズのオートズームスイッチが P になっている。	レンズのオートズームスイッチを A にする。	64ページ
パワーズームが動かない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して POWER ZOOM にする。	25ページ
撮影のときズームが勝手に作動する。	イメージサイズ指定モードになっている。	イメージサイズ指定モードを解除する。	67ページ
露光間ズームにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して POWER ZOOM にする。	64ページ
ズームिंगをするとピント合わせをし てしまう。	パワーズームでズームिंगをすると自動的にピ ント合わせをします。	ペンタックスファンクションの設定でピント合 わせをしないようにできます。	80ページ
学習機能が働かない。	露出モードがビクチャーモード以外になっている。	ビクチャーモード[グリーンモード以外]にする。	35ページ
	ペンタックスファンクションの設定で学習しな いになっている。	ペンタックスファンクションの設定を学習するに する。	81ページ

4) 主な仕様

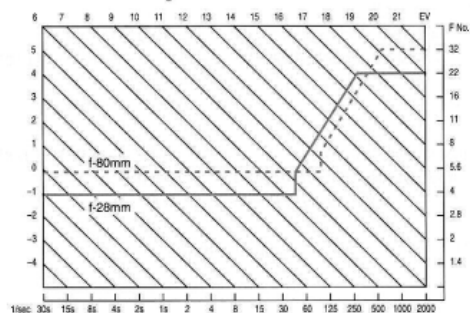
型式	TTLストロボ内蔵 TTL AE・AF 35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム[J 135パトローネ入り]35mm DXフィルム=ISO25~5000 DXでないフィルムはISO 6~6400
露出モード	ビクチャーモード[グリーンモード、人物モード、風景モード、動物モード、近接モード]、プログラム自動露 出、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出、マニュアル露出、バルブ
シャッター	電子制御式縦走りフォーカスブレイクシャッター オートシャッター=1/2000秒~30秒[無段階]、マニュアル シャッター=1/2000秒~30秒、バルブ、電磁リリーズ、電源スイッチ切りでシャッターロック
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF 2マウント[AFカブラー、レンズ情報接点、パワーズーム用電源ピン付き Kマ ウント]
使用レンズ	KAF 2、KAFマウントレンズ KA、Kマウントレンズ[AFアダプター使用でAF可能]
オートフォーカス機構	TTL位相差検出式、オートフォーカス作動輝度範囲 Ev -1~18[ISO100][F1.4レンズ付き]、フォーカス ロック可能、フォーカスモード= AF [動物予測可]、 MF
パワーズーム	F Aズームレンズとの組み合わせにより、3速パワーズーム・イメージサイズ指定・ズームクリップ・露光間 ズームが使用可能
ファインダー	ペンタミラーファインダー、アスフェリックマイクロマットフォーカシングスクリーン、視野率92%、倍率 0.77倍[50mm・∞]、視度=-1 D[ディオプトリ]
ファインダー内表示	フォーカス表示[F I=フォーカスインジケーション] 合焦マーク=点灯 合焦不能マーク=点滅、 シャッター速度表示、絞り表示、 =ストロボ情報マーク、 =バークラフ[露出補正值、マニ ュアル露出時のオーバー、アンダー表示、学習機能のシフト量表示、ハイパープログラムシフトのシフト量表示]、 =絞り効果マーク、 =動物効果マーク
LCDパネル表示	=グリーンモード、 =人物モード、 =風景モード、 =動物モード、 = 近接モード、 P =プログラム自動露出マーク、 A =シャッター優先/絞り優先自動露出マーク、 M =マニュアル露出マーク、露出補正=-3.0~3.0、 =イメージサイズ指定マーク、 =ズ ームクリップマーク、 =露光間ズームマーク、シャッター速度=2000~30 s・ マーク、絞りF値 =1.2~90、ISO=6~6400、バークラフ[露出補正值、マニュアル露出のオーバー、アンダー表示、学習機能の シフト量表示、ハイパープログラムシフトのシフト量表示]、 =パトローネ・フィルム走行・巻き取り マーク、 =電池消耗マーク、フィルムカウンター=0~99、 =内蔵ストロボ充電完了マーク、 遅い点滅=ストロボお勤めマーク、 速い点滅=不適切レンズ警告マーク、 =セルフタイマ マーク、 =TVマーク、 =赤目軽減機能マーク、 =連続撮影マ ーク、 =学習機能マーク、 =絞り効果マーク、 =動物効果マーク

セルフタイマー	電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間12秒[電子音]、作動後解除可能
ミラー	クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付
フィルム入れ	オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付
巻き上げ・巻き戻し	内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式、1コマ撮影・連続撮影[約2コマ/秒]、フィルム終了時自動巻き戻し、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示、途中巻き戻しボタンによる途中巻き戻し可能
露出計・測光範囲	TTL開放6分割測光、測光範囲50mm F1.4 ISO100 EV 1~21、マニュアル露出時スポット測光
露出補正	±3 EV [0.5 EVごと設定可能]
ストロボ	直列制御TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー13[ISO100/m]28mmレンズをカバー、同調速度1/100秒~1/30秒へ自動切り替え、日中シンクロ、低速シンクロ、光量比制御可能 ISO連動範囲=25~400
シンクロ	ホットシュー[X接点専用ストロボ接点付き]専用ストロボ連動 ISO連動範囲=25~800
電源	6Vリチウムバック電池 2CR5 1個
電池消耗警告	バッテリーマーク  点灯[点滅時シャッターロック、ファインダー内表示は消灯]
ペンタックスファンクション	ペンタックスファンクション5項目設定可能
学習機能	ハイパープログラムシフト時学習機能あり。
裏ぶた	交換可能
大きさ・重さ	146.0mm[幅]×93.0mm[高]×69.5mm[厚] 520 g [ボディのみ 電池別]
付属品	ホットシューカバーFE、レリーズソケットキャップFE、カメラストラップFC、アイカップFE、ファインダーキャップ

クォーツデイト仕様

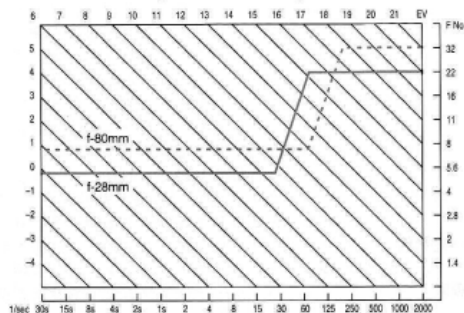
デイト機構	クォーツ制御、液晶表示式、デジタル時計、オートカレンダー[西暦2019年まで、閏年は自動修正]
データの写し込み方法	7セグメント6桁LCD、フィルム背面より写し込み
データ表示	データ表示窓にLCD表示、表示写し込み時  が2~3秒間点滅
データの種類	①年・月・日、②日・時・分、③  [データ写し込み無し]、④月・日・年、⑤日・月・年 年=87~19[1987~2019年]、月=1~12、日=1~31、時=0~23、分=00~59
使用フィルム感度	ISO25~1600[感度自動セット]
デイト電源	C R2025[リチウム電池]
発光回数	約5000回

プログラム線図[ノーマル/グリーンモード]



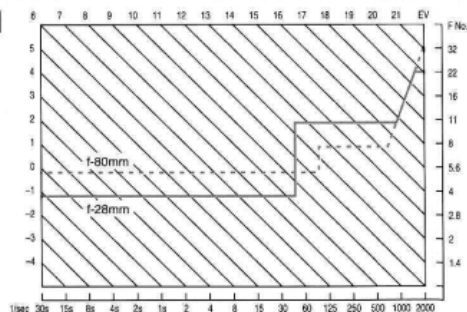
ISO100 FA28~80mm F3.5~4.7

プログラム線図[風景モード]



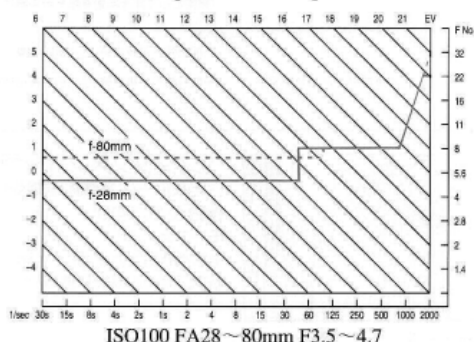
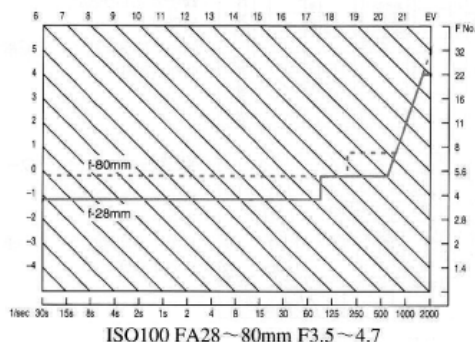
ISO100 FA28~80mm F3.5~4.7

プログラム線図 [人物モード]



ISO100 FA28~80mm F3.5~4.7

プログラム線図[近接モード]



お問い合わせは次の各サービス窓口へ

■営業時間：●ペンタックスフォーラム(新宿)

午前10時30分～午後6時30分
(原則として年末年始を除き年中無休)

●ペンタックスフォーラム・大阪

午前10時～午後6時(日・祝日休業)

●各サービスセンター

午前9時～午後5時(土・日・祝日休業)



ペンタックスフォーラム
(ショールーム・写真展・修理受付)

☎03(3348)2941840
〒163-04

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル1階(私書箱240号)



東京サービスセンター

☎03(3571)5621(代)

〒104
東京都中央区銀座西8丁目10番地



札幌サービスセンター

☎ 011(241)874244

〒060
札幌市中央区
大通西8丁目1番地1号
朝日生命札幌大通ビル4階

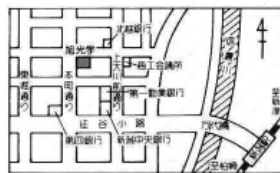


仙台サービスセンター

☎ 022(261)5681(4)

980

仙台市青葉区中央2丁目2番10号
仙都会館4階



新潟サービスセンター

☎025(224)839144

T951

新潟市本町通七番町1153番地
新潟本町通ビル



横浜サービスセンター

0456694X0374484

U45
= 224

〒231
横浜市中区不老町1丁目6番9号
横浜エクセレントVビル3階



静岡サービスセンター

☎054(255)630844

054
420

〒420
静岡県伝馬町24番2号
住友建設ビル5階



名古屋サービスセンター

☎052(962)5331(代)
〒461
名古屋市中区栄1丁目19番8号



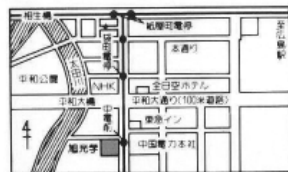
金沢サービスセンター

☎0762(22)0501(代)
〒920
金沢市尾張町2丁目8番23号
太陽生命ビル6階



大阪サービスセンター

☎06(271)7996(代) (修理受付)
〒542
大阪市中央区南船場1丁目17番9号
ペンタックスフォーラム・大阪
(ショールーム・写真展)
☎06(271)3960



広島サービスセンター

☎082(248)4321(代)
〒730
広島市中区大手町3丁目7番2号
大東京火災広島ビル8階



福岡サービスセンター

☎092(281)6868(代)
〒810
福岡市博多区中洲中島町3番8号



消費者相談室

☎03(3572)6479
〒104
東京都中央区銀座西8丁目10番地



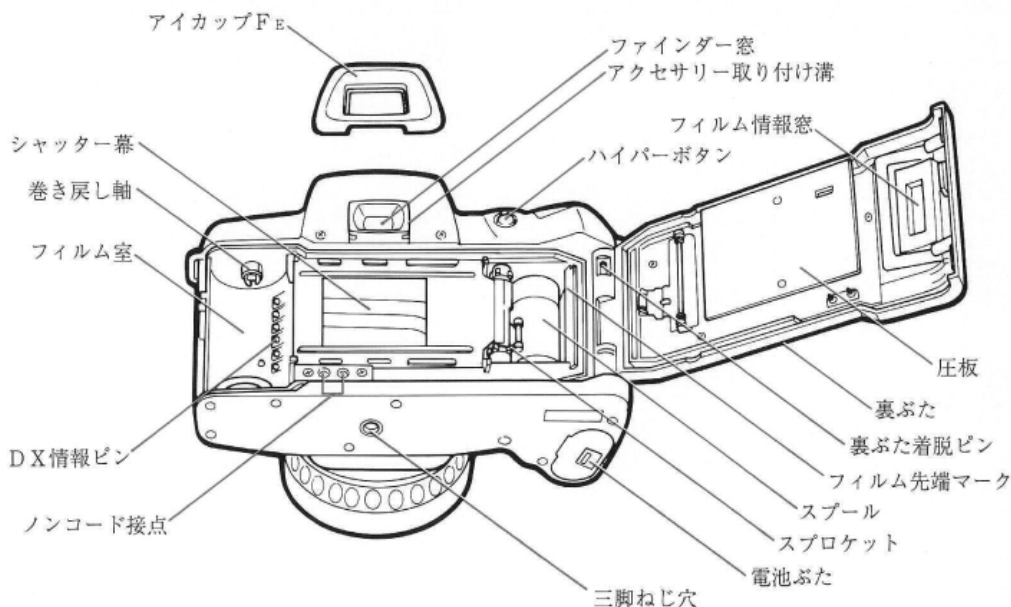
ペンタックスファミリー(写真クラブ)

☎03(3401)2187
〒106
東京都港区西麻布3丁目24番20号
交通安全教育センター3階

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。
お申し込み・お問い合わせは上記ペンタックスファミリー事務局まで。

各部の名称②



アフターサービスについて

- 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
 - 他社製品[レンズ、アクセサリ等]との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。郵送の場合は、カメラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかり包装し、書留小包便でお送りください。なお、不良見本のフィルムやプリント、また、故障内容は正確にメモして添付していただくと原因分析に役立ちます。
 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は保証書[販売店印、および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。保証書がないと、保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用は、お客様にご負担願います。
 3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
 4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後、10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても、修理可能な場合もありますから、当社の各サービス窓口にお問い合わせください。
 5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口ではお手持ちの保証書と交換に、国際保証書を発行いたします。[保証期間中のみ有効]なお、特定の旅行先でのサービス窓口の住所については、お問い合わせください。

107



旭光学工業株式会社

〒174 東京都板橋区前野町2丁目36番9号

旭光学商事株式会社

〒100 東京都千代田区永田町1丁目11番1号